身近な問題解決に活かす

ゲーム理論の基本がわかるコース

身近な問題解決に役立つ「ゲーム理論」の基本的な考え方を理解します。

他者を含めた関係を俯瞰して、問題の全体像を把握し、その本質を理解する「ゲーム理論」は、様々な社会問題の解決方法を探るツールとして、多くの研究で活用されています。ゲーム理論では、全体像を見るという空間的な視野を広げるだけでなく、過去から未来まで時間的な視野をも広げることで、問題を見抜く力、問題を解決する力を身につけます。

<本コースのねらい>

- 「ゲーム理論」の全体像を理解する。
- 「ゲーム理論」の考え方の視点に沿って、身近なケースを取り上げながら考える。
- 「ゲーム理論」を学ぶことで、問題の本質を見る視点を増やし、問題解決に役立てる。

<コースカリキュラム>

第1章 問題の全体像をつかむ	1-1 ゲーム理論の目的と２つの特徴 1-2 与えられた状況を整理する -囚人のジレンマ＜プレイヤーと戦略＞ 1-3 与えられた状況を整理す -囚人のジレンマ＜利得表＞ 1-4 次に何が起こるかを予想する -囚人のジレンマ＜ナッシュ均衡＞ 1-5 ジレンマから抜け出すために -ゲームの構造を変える
第2章 社会のしくみを知る	2-1 みんなが同じ選択をするとき -コーディネーション・ゲームの構造 2-2 習慣に支配されるとき -コーディネーションの失敗
第3章 利害関係の多様性を知る	3-1 利害関係の多様性を知る -チキンゲームの構造 3-2 利害関係の多様性を知る -男女の争いのゲーム構造 3-3 利害関係の多様性を知る -マッチング・ペニーズのゲーム構造
第4章 時間経過と状況の変化を読む	4-1 時間経過とともに状況が変わる -ダイナミック・ゲーム＜ゲームの木＞ 4-2 時間経過とともに状況が変わる -ダイナミック・ゲーム ＜バックワード・インダクション＞ 4-3 時間的な視野で最適な行動が変わる -時間不整合性／コミットメント 4-4 時間的な視野で最適な行動が変わる -囚人のジレンマの場合
エピローグ	5-1 ゲーム理論を応用するには？ 5-2 練習問題にチャレンジ

<概要>

受講対象者	ビジネスパーソン全般
監修者	川西　諭 上智大学　経済学部　教授
仕様	●想定学習時間：3 時間 ●最短実行時間：40 分 ●テスト数：1 （全10問、ランダム出題）

©JMA MANAGEMENT CENTER INC 無断複製転載を禁じます